

## 令和2年度 公益財団法人羽島市地域振興公社の事業計画

最近の経済動向は「新型コロナウイルスによる、経済活動の自粛や外需の悪化、感染拡大が長期化すると経済環境はより一層厳しい」とされております。

このことを考えると公社を取り巻く環境も、大変厳しいと予想されることから、今回の予算査定は担当係長も加わり、事業の見直し・経費削減の徹底を行い、公社全体の意思疎通に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染状況がどのようになるのかに加え、文化センターでは大規模改修による長期休館をいたします。こうした中、公益財団法人として「市民サービスの向上促進、市民福祉の増進と文化の振興」に一層努力するとともに、指定管理の原点に立脚したお客様・利用者の視点でのサービスの向上と、更なる事業展開、効率的な管理運営の推進に努めてまいります。

### I 管理運營業務（指定管理）に関する事項

#### 1 文化センターの管理運營業務（職員13名 うち嘱託2名・臨時職員4名）

文化センターは、市民の文化事業、文化活動の支援を担う羽島市の文化振興の拠点として、市内のみならず県内外の多くの方々にご利用いただいております。

貸館事業では、運営の工夫を図り利用者の多様なニーズに応えることができるよう努めております。市におきましては、開館21年を経た施設の長期延命と機能の維持向上を図るべく計画的に改修事業を進めていただいております。元年度は、401大会議室と大ホールリフトリハール室の照明改修(LED化・機能変更)、防犯カメラ増設(2階、通路出入口部分)、事務室・レストラン部空調改修、予約システム更新、ピアノオーバーホール(ヤマハCFⅢS)の各事業を実施いただきました。

新年度の9月23日(火)からの大規模改修につきましては、工事内容の変更があり、工期が短縮されました。令和3年度の業務委託を含めて関係業者との相談において、一部の更新工事と同時並行で2週間で精密総点検(法定点検含む)を実施することで、全館休館を令和2年12月1日(火)から令和3年4月16日(金)までとすることになり、これに伴い別紙のように予約・利用の仕方について、葉書でご利用団体に、掲示や文書で来館の皆様へ、また広くHPにてお知らせをしているところです。402特別会議室については、継続検討事項となり、いった

ん改修を取りやめ、今後に向けて準備を進めています。

施設利用の利便性向上については、307 視聴覚研修室の改修を職員で行い利用拡大を進めました。101 展示室、2 階南テラス、メディアカーニバルは、引き続き空間や場所の活用法を工夫して様々な事業で利用いただいています。

なお、利用料金(利用法含め)・備品使用料については、20 年を経た現状・社会の様子・他市他館との比較等の作業を行い、市が検討されている減免の見直しと合わせて、市と綿密に協議を進めています。

各業務委託については、大規模改修及びその後の運用を勘案し、前年に引き続いて安心安全の確保と公正公平さを厳守し、業務委託の見直しを厳しく行い、業務内容の充実と経費の削減の両立を図りました。

特記すべき事項として、新型コロナウイルス感染症対策があります。羽島市の要請を受け、日々市関係者と検討しながら別紙のように対応しております。今後も予断を許しませんが、利用者・来館者の皆様との協働で、取り組むとともに、羽島市の文化活動の拠点を維持し続けていきます。(別紙：対応の概略)

「改修工事・休館・新型コロナウイルス感染症への対応」など、喫緊のお知らせに対応できるよう、HP の機能向上を実施し、先日より運用しています。ただ、開館 21 年を経て、本館の情報通信能力は限界であり、イノベーションに対応し、市民の方々の利便性向上の向上ために、今後とも具体的な運用改善について改修を含めて市と協議を続けていきたいと考えています。

中央公民館の管理業務は「使用許可等に関する業務」「利用料金の収受に関する業務」「施設及び設備の維持管理に関する業務」であり、文化センターの管理運営の重点と同じく、改修事業・利用者の利便性向上に取り組んでいます。

各々の条例施行規則第 11 条に規定する団体に関する施設管理業務を公益目的事業、それ以外の団体に関する施設管理業務を収益事業として区分しました。

## 2 自主企画事業

文化センターの自主企画事業のうちの内、地域貢献の公益的なものを公益目的事業、それ以外の公演を収益事業として区分しました。

新年度においても、自主事業は「伝統芸能」「音楽コンサート(①演奏会・ミュージカル②歌謡ショー・市民参加)」「育成」事業を柱として取り組み、別紙のような企画事業を進めていきます。5 年間の重点とした「社会貢献とバリアフリー」と位置付けた子育て・教育支援の視点をもった事業は、「小さき花の音楽会」「学校

アウトリーチ・特別支援学校との連携」「しばしきよなら公演 Vol. 1, 2(市民協働の企画と平原綾香 Concert)」です。

### 3 羽島市老人福祉センター羽島温泉の管理運営業務

(職員14名 うち臨時職員6名)

羽島市設置の温泉施設であることを認識し、すべての利用者が快適に温泉施設を利用されるよう、関係機関の協力のもと観光としての一面も情報発信できるように努めるとともに当市の貴重な資源でもあります「羽島温泉」を皆様と共に、「親しまれる、喜ばれる“羽島温泉”」をめざして健康増進に寄与できるように努めてまいります。

#### (1) 利用者増への事業推進 (30年度189, 739人)

他の類似施設との情報交換及び「広報紙」「ホームページ」にリアルタイムな情報提供

#### (2) 受付事務・接遇の向上 (おはようございます、ありがとうございます、失礼します、すみません運動を展開し心和む温泉施設に努めます)

#### (3) 医師による健康相談 (対象60才以上、毎月第2水曜日) の開催

#### (4) イベント・自主企画の開催

利用者感謝イベント「風呂の日(26日)」に回数券購入者に粗品進呈を行ってリピーターの確保

健康に関する講座を随時開催

季節感のある「お客様感謝デー」を計画

「西美濃湯めぐり倶楽部」に積極的に参加し広域的な企画立案

インターンシップの受け入れ体制整備

#### (5) 地元の特産・土産物等の販売促進

#### (6) ご意見箱を常設し利用者「満足度アンケート」を実施し意見要望等の把握・改善 (適宜行政へ連絡)

#### (7) 施設の保守点検に努め、早い段階での修繕等を実施

以上、当該施設の設置目的に基づき市内65歳以上の老人及び身体障がい者に関する施設管理業務を公益目的事業、それ以外の利用者に関する施設管理事業を収益事業とし、物品販売に関する事業は収益事業として区分しました。なお、食事等を提供していた温泉亭については、利用者の減少により収支が悪化したため、経営改善の一環で新年度より閉店することとし

ました。

#### 4 歴史民俗資料館の管理運営事業（職員3名 うち臨時職員4名）

令和2年度の羽島市歴史民俗資料館の事業は、常設の展示に加えて年間3回の企画展の開催を予定しています。常設展示では、羽島市を中心としたこの地域の特色を示す歴史民俗、文化（映画）などに関する展示を行っています。企画展示は、例年は4回の開催ですが新年度は羽島市不二竹鼻町屋ギャラリー主催の巡回展を企画展室で予定していることから、あわせて4回としました。内容は次の通りです。

##### ○企画展1

①テーマ「オリンピック応援 映画ポスター展」

②期間 令和2年4月1日（水）～6月14日（日）

③内容 令和2年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに関連して、8月25日の開会式に向けて各地でさまざまな行事が計画され、羽島市でも4月5日に聖火リレーが予定されており、盛り上がりが見込まれています。

資料館としては、収蔵資料を活用して、これまでのオリンピックやオリンピックの競技種目などが取り上げられている映画のポスターを展示し、映画の世界を通してオリンピックとスポーツのもつ魅力を発信します。

また、地域にゆかりのあるオリンピック選手の活躍ぶりやユニホームなどの関連資料も展示します。

##### ○企画展2

①テーマ：「竹ヶ鼻城とその周辺～推定位置の諸説・歴代城主・関連資料～」

②期間 令和2年6月26日（木）～8月19日（木）

③内容 慶応5年（1600）の8月23日に、「関ヶ原の戦い」の直前に、東軍の福島正則勢によって攻め込まれ炎上した竹ヶ鼻城は、郷土史家などによってその城郭位置に関する調査・研究が行われてきました。また、書籍や、古記録の中には竹ヶ鼻城やその周辺の動きが読み取れる記述が残されています。

この企画展では、研究家の研究成果とともに竹ヶ鼻城の推定位置の諸説、歴代の城主、それらに関する資料を紹介します。また、この時代に現在の羽島市にあった城・砦・館など周辺の状況などを紹介して、来館される皆様に竹ヶ鼻城の城郭位置を推理していただけるような展示を予定しています。

### ○企画展 3

①テーマ「昔のくらしと道具展」

②期間 令和3年1月9日（火）～3月14日（日）

③内容 明治から大正，昭和にかけて，私たちの暮らしは大きく変化してきました。そして，暮らしの中で使われてきた道具やものも，あるものは姿を消し，あるものは大きく形を変えるなどして，暮らしと道具が相互に作用して進化を遂げてきました。この展示では，こうした過程をご自身の暮らしや歴史と重ねながらご覧いただきます。

さらに，小学校社会科「昔の道具と暮らし」の単元の学習にあわせて，古くから使われている暮らしに関わる道具や，その使われ方などを調べたり体験したりする活動を提供します。人々の知恵や工夫に気付いたり，人々の生活の変化や人々の願いを考えることができるような展示を予定しています。

また，「映画のつどい」は，例年通り毎月第2土曜日の午前と午後の2回，映画資料室で上映します。すでに，お客様のリクエストなどをもとに作品を決定しています。

古文書学習会は，毎月第4土曜日に開催します。講師として岐阜看護大学講師の高木庸太郎先生にお願いし，主にこの地域の歴史民俗に関する古文書を使って進めていきます。

歴史民俗資料館が行っている歴史民俗・映画などに関する資料展示，収集・整理及び保管は，地域の歴史民俗や文化への認識を深め，郷土に対する愛着や自分たちもその一員だという気持ちを育むことができます。このような理由から，歴史民俗資料館指定管理事業は公益目的事業としました。

### 5 老人福祉センターの管理運営事業（職員3名）

第4期指定管理期間の初年度に当たり以下の事項に留意し事業を推進します。

当センターが自主事業として行うシルバー大学、「教養教室」、「健康相談」の3事業を通じて，きめ細やかな老人福祉の実現を目指していきます。

また，当センターに事務所が置かれている羽島市老人クラブ連合会につきましては，令和2年度から当公社が事務の委託を受けましたので，老人クラブ活動が円滑に行われるよう運営してまいります。

長年にわたり社会の発展に寄与された高齢者の，老後の豊かな生活に資するべく，利用者・利用団体等への積極的な支援を行うと共に，センターのより一

層の効率的・効果的な運営を図るため努力していきます。

老人福祉センターは老人の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、老人福祉の向上に寄与するために設置された施設であることから、老人福祉センター指定管理事業は公益目的事業としました。

「主な事業」

(1) 施設等使用の受付・許可事務及び入浴料金等の徴収

(2) 施設の維持管理、清掃・点検及び軽微な修繕等

(3) 自主事業の企画運営

①教養教室：高齢者の趣味の輪を広げることにより、趣味活動を通じた心豊かな生活と参加者の交流によるふれあいの輪を広げ、健康の維持増進や生きがいづくりを推進する。

②シルバー大学：「健康」「運動」「防災」「防犯」等をテーマに高齢者が健康で安心した生活を送ることができるよう、また、生きがいづくり、コミュニケーション形成を目的として講座を開設する。

③健康相談：医師、看護師による心身の健康に関する個別の相談に応じ、心の健康相談や生活習慣病予防、寝たきり予防に関する必要な指導や助言を行う。

(4) サークル、同好会活動への支援

(5) 市老人クラブ連合会の各種事業事務

(6) 各町老人クラブ及び単位老人クラブ活動への支援

## II 庶務に関する事項

公社の一般的な庶務については、事務局において次のような事務処理を行う。

### 1 理事会に関する事項

(1) 令和2年 第2回理事会（6月初旬開催予定）

令和元年度 事業報告の承認

令和元年度 事業会計決算の承認

(2) 令和2年 第3回理事会（11月上旬開催予定）

令和2年度 指定管理受託事業の中間報告

(3) 令和3年 第1回理事会（令和3年3月下旬開催予定）

令和3年度 事業計画案

令和3年度 予算案

## 2 監査に関する事項

- (1) 令和元年度分 決算監査 (令和2年5月中旬実施予定)
- (2) 令和2年度分 中間監査 (令和2年10月下旬開催予定)

## 3 評議員会に関する事項

- (1) 令和2年 第2回定時評議員会 (6月上旬)
  - 令和元年度 事業報告の承認
  - 令和元年度 事業会計決算の承認
  - 令和2年度 事業計画及び事業予算報告
- (2) 令和2年 第3回臨時評議員会 (11月中旬)
  - 令和2年度 指定管理受託事業の中間報告